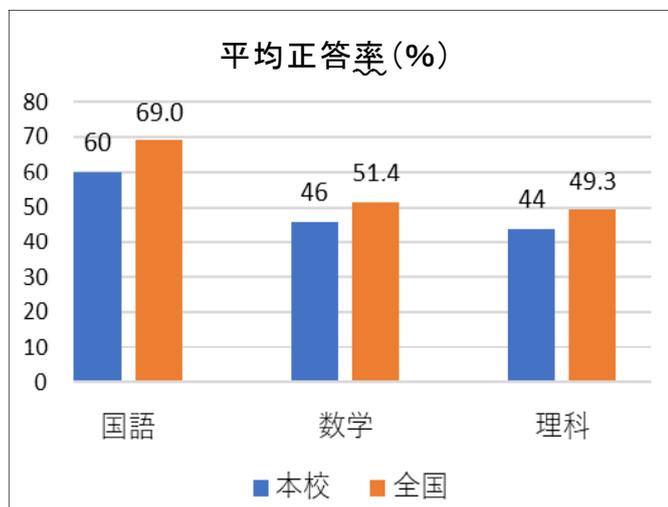


全国学力・学習状況調査の結果から



平均正答数

国語

14あった問題に対して一人あたり平均で8.5問正解(全国平均は14問中9.7問正解)

数学

14あった問題に対して一人あたり平均で6.5問正解(全国平均は14問中7.2問正解)

理科

21あった問題に対して一人あたり平均で9.3問正解(全国平均は21問中10.4問正解)

4月19日に3年生で実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。実施は3年生ですが、1・2年生のみなさんも読んでください。左上のグラフは、それぞれの実施教科での箕島中学校と全国の平均正答率(%)の比較です。しかし、平均正答率よりも一人あたり平均して何問正解しているかという平均正答数のほうが分かりやすいと思いますので、計算してみたところ、右上のような結果となります。

せっかくの機会ですので、実施されたそれぞれの教科で、全国平均に比べると課題であると思われる問題の一部を載せておきます。もう一度、問題にチャレンジしてみましよう(1・2年生のみなさんも習っていない所もありますが、できる問題もありますのでチャレンジしてみましよう)。

国語

〈下線部の漢字を正しく書く問題〉

.....草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父母に.....

答 除 喜

〈表現の技法についての問題〉

「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する。

- 1 「ただ、と、おれは思う。」
- 2 「ブルーシートを地面に広げ、真ん中に立てた大きなパラソルの下で涼む人。」
- 3 「猫のように素早く手を出し」
- 4 「もっともっと前の話だと説明する。」

答 技法：比喩 選択肢：3

※他にも、行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものを選ぶ問題で課題がありました。

数学

<自然数を素数の積で表す問題>

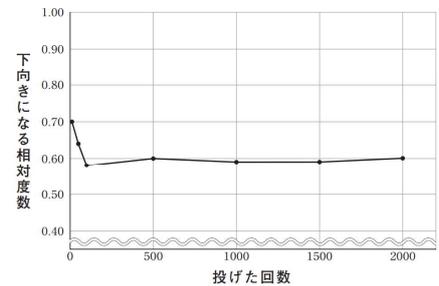
42を素因数分解しなさい

答 2 × 3 × 7

<確率の意味を理解しているかどうかの問題>

表や折れ線グラフから、下向きになる確率がどのくらいであるかがいえます。その確率として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

投げた回数	下向きになった回数	下向きになる相対度数
10	7	0.70
50	32	0.64
100	58	0.58
500	299	0.60
1000	589	0.59
1500	889	0.59
2000	1190	0.60



ア およそ0.5 イ およそ0.6 ウ およそ0.7 エ およそ1.0 答 イ

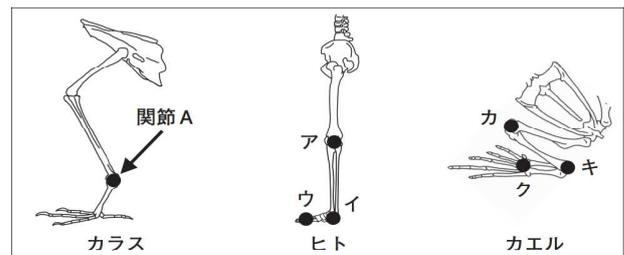
※素因数分解の問題は、もしかしたら素因数分解という言葉の意味が分かっていなかったりするためにできなかったのかもしれませんが。確率の他にも一次関数や反比例の意味を理解しているかどうかの問題で課題がありました。

理科

<共通点と相違点から考える問題>

カラスのあしの関節Aは、ヒト、カエルのそれぞれどこに相当すると考えられるか。

答 ヒト:イ カエル:キ



<実験についての問題>

【課題1】

アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

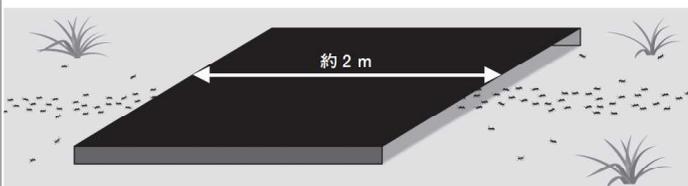
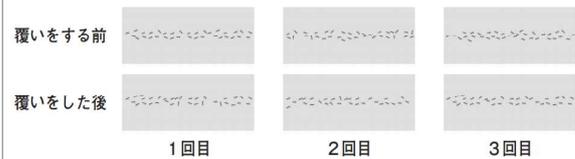


図 覆いをしたようす

- 覆う前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。
- ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果1】

6月9日(13時から15時) 場所:中央公園



【考察1】

この実験の結果からは、アリの行列のようすは ので、 と考えられる。

P、Q に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい

答 P (例) 変化しない Q (例) 視覚による情報をもとに行列をつくらない

※他にも地層のでき方について他者が考えた意見を違う視点から検討して改善したりする問題に課題がありました。

学力調査では国語に限らず数学でも理科でも問題文が非常に長い上に、表や図形などをしっかりと理解しながら（考えながら）読み進めないとできない問題がたくさんあります。そういう意味でも、じっくりと自分で考える（自分の意見をもつ）ことを大切にしたり、毎週取り組んでいる「よむYOMUワークシート」などにしっかりと取り組んでほしいと思います。